

## 《第 25 号》「成長しながら生きる」

アキコ・フリッド(国際環境保護団体グリーンピース遺伝子組換え問題キャンペーン所属)

スウェーデンで切らして 14 年が経った。この間、一市民としてたくさんのことを学び、一消費者として成長したと思う。市民運動とは無縁だった私が行動する人になっただのは、11 年前、農薬会社が生物の遺伝子を組み換えたことを知ったからだ。あれからたくさん行動した。そして、スウェーデンも変わっていった。

引越しをした当初、私の住む町で有機野菜や食品を見つけるのはほとんど不可能だった。でも今は、無農薬・有機食品や地元で育った旬の野菜を頻繁にみるようになった。コーヒー、チョコレート、バナナなど、スウェーデンでは栽培できない原料のものにはフェアトレード認証がついている。それらもほとんどの場合、無農薬・有機栽培だ。

地球は 1 つ。丸い地球。私たち 1 人ひとりの行動は地球全体に影響を及ぼす。このことと本気で考える時が来ている。バナナ栽培ができない国の人がバナナを食べる。バナナを栽培してくれる人や農地が、農薬で病気にならないように考えることも、私たち買い手の責任だと思う。思いやりをもって行動すると、いろいろなことが見えてくる。

行動することで人間は成長する。自分の行動に責任を持つことで、人間はさらに成長する。他人任せでは人は成長しないし、他人任せでは社会も成長しない。ただし、役割分担は重要だ。適材適所という言葉があるが、自分は何が得意なのか、自分にはどんな役割があっているのか、それを知り、実践することで、物事は上手くいくようになる。

成長しながら生きることを知ると、人生がより味わい深くなっていく。このことをまず私は多くの人に知ってもらいたい。

以上